

外国人ママ友を作る最初の一步! 話しかけ英語4つのアイデア

- 情報交換・収集をする上で大事な存在のママ友。インターナショナルスクールにお子さんを通わせているとなると、当然ママ友との会話も英語が多くなります。でも、外国人ママに話しかけるとしても、「何から話せばいいんだろう? 会話が続かなかっただろう?」と躊躇してしまうかもしれません。英語初心者でも、気軽に他のママに話しかけるための4つのアイデアと英語フレーズをご紹介します。

アイデア(1) 相手のお子さんを褒める

特に外国人は、どんなに些細なことでもそれを言葉にして褒めてくれる人が多いです。「褒める」ことが会話を始める大きなきっかけになります。例えば以下のような英語フレーズで、気軽に外国人ママに話しかけてみましょう。

<She is adorable.> (とても可愛いですね。)

“adorable”とは「可愛い」という意味で、特に小さい子によく使われる表現です。“So cute”や“precious”“sweet”と言い換えても同じ意味になります。逆に相手から褒めてもらった、“Thank you! Yours, too!”(ありがとう。あなたのお子さんも可愛いですね。)と会話を繋げてみましょう。

<He is always energetic!> (いつもとっても元気ですね!)

“She has a lot of energy!” “She is full of energy.”も「すごく元気ですね。」という表現になります。

<She looks so pretty in the dress.> (そのドレス、とっても似合ってますね。)

例えば髪の毛についているリボンやカチューシャなどを褒める時には、“She looks so pretty with the ribbon.”と“with”を使います。洋服の時は“in”、アイテムの時は“with”と覚えておきましょう。

<I love her/his hair.> (髪型良いですね。)

褒めるときのマジックワードが「I love~!」です。自分が思う主観の表現なので、あとにどんな名詞でもつけることができます。例:I love his shoes. I love her dress.

アイデア(2) 子供が仲良しのお子さんのママに話しかける

4・5歳にもなると、「いつもスクールで誰とよく遊んでいるか」など、他のお子さんの名前が子供から出てくるが多くなります。プリスクールで教室の中で送迎ができる場合には、相手のママとも会えるかもしれないので、その時は思い切って話し掛けてみましょう。(※○○の箇所はお子さんのお友達の名前が入ります。)

<Are you ○○'s mom?> (○○のお母さんですか?)

<Is ○○ yours?> (○○はあなたのお子さんですか?)

<My daughter talks about ○○ all the time.> (娘が○○のことをいつも話すんですよ。)
“all the time”の他にも“she talks about ○○ nonstop.”という言い方もできます。“all the time”も“nonstop”も「いつも、休むことなく」という意味になり、文末にきます。

<My son loves ○○!> (息子は○○が大好きなんです!)

<My son said he and ○○ play together a lot.> (息子が○○と良く一緒に遊ぶって言っていました。)

<We hear about ○○ every day.> (○○のことを毎日聞くんですよ。)

<May I have your name?> (お名前を伺ってもいいですか?)

<Do you want to have a playdate sometime?> (いつかプレイデートをしませんか?)

お子さんの仲良しのママと話せたら、これを聞いてみましょう!“sometime”「いつか」を付けることで、気軽に聞いているニュアンスになります。

アイデア(3) 学校のイベント等を話題にする

インターナショナルスクールでは、授業以外にもイベントで集まる機会があったり、学校の時間外に特別クラスがある学校もあります。話題のきっかけにしてみましょう。

<Are you going to the event this weekend?> (今週末のイベントは行きますか?)

<What is ○○ going to be for Halloween?> (○○はハロウィンでは何になる(仮装する)んですか?)

インターナショナルスクールだと、学校でハロウィンイベントがある事もあるので、話題にしやすい質問です。

<Is she taking any optional classes?> (オプションクラスを何かとっていますか?)

現在、何か受講中かを聞く表現です。“Has she taken any optional classes?”と現在完了形を使うと、今に限らず「オプションクラスを今までに何かとったことはありますか?」と経験を聞く意味になります。

<Will you be here for the parent observation?> (授業参観には来る予定ですか?)

アイデア(4) 出身国や滞在のことを聞く

<Where are you originally from?> (どこ出身ですか?)

“Where are you from originally?”と最後の語順を変えることもありますが、どちらも同じ意味です。もちろん“Where are you from?”だけでも構いませんが、“originally”を加えたほうが、「生まれはどこか」という意味がはっきりします。

<How long have you been living here?> (ここにはどのくらい住んでいるのですか?)

“have been living”は継続して「住んでいる」という意味になるので、滞在期間を聞く時の決まったフレーズになります。

<How do you like living here?> (ここに住むのはどう思いますか?)

答えの例としては、“I enjoy it!”(楽しんでるわよ!)や、“I love it!”(最高よ!)など返ってくるかもしれないですし、“We are surviving.”「なんとかやってるわよ。」などと返ってきたら、まだ引っ越してきたばかりか、言葉の壁で少し大変な思いをしているなどの気持ちが込められているかもしれないですね。

<What brings you here?> (ここに来たきっかけは何ですか?)

これは外国人ママが良く聞かれる質問ナンバーワンかもしれません。旦那さんのお仕事であれば“For my husband's work.”などと短く答える人も多いでしょう。

- 4つの話題アイデアからそれぞれ使える英語フレーズを紹介しました。外国人ママといっても、子供同士が同じ時間を共有しているという1つの共通点があるママたちです。つたない英語だったとしても、同じママとして話しかけてもらえるのは、外国人ママも嬉しいはず。話しかけるネタは何でもいいのです。上記の4つのアイデアを参考にして、気軽に話しかけてみましょう。

ママたちは言葉の通じない赤ちゃんの時代からずっと子供を相手にしてきたのですから、ゆっくり話すことや多少聞き取れないことがあっても、そこは辛抱強く、明るく対応してくれるはず。逆の立場で、つたない日本語で外国人ママに話しかけられた自分だったらどう思うか、どう対応するかを考えてみると、意外と言葉は気にならないと気楽な気持ちになるのではないのでしょうか。